

北辰テスト勉強法 ー英語ー

出題傾向と出題形式の確認

北辰テストは埼玉県公立高校入試と同様の構成です。埼玉県公立入試の構成や出題形式が変わると、北辰テストも同じように変更されます。令和5年度入試で変更された形式と配点が北辰テストにも反映されました。

北辰テスト出題構成

大問	1	2	3	4	5
内容	リスニング	英文の完成 英作文	文章の読解	会話文の読解	文章の読解 英作文
配点	28点	17点	18点	25点	12点

第7回・第8回は、「学力検査問題」「学校選択問題」の2種類から選択

学習の取り組み方

■英単語

見て覚えるのではなく、書いて覚えましょう。さらに音読もすると効果が高まります。

■文章読解

自分に合った解き方、出題形式に合わせた解き方を身につけましょう。

本文を細かく読まなくても答えを導き出せる設問もあります。より多くの問題を解いて分析し、傾向をとらえることは重要です。

■英作文

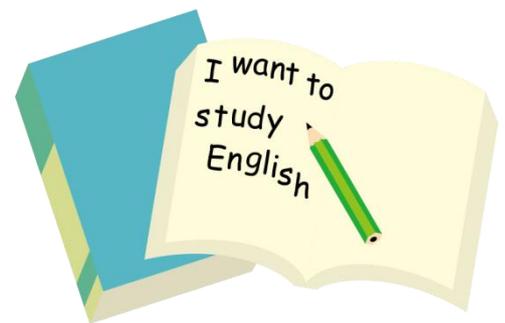
英作文の型を身につけることで、時間をかけずにまとまった作文を書くことができるようになります。

「書きたいこと」や「本心・本音」を書くのではなく、「確実に書けること」を書くことにポイントを置きましょう。

■文法事項

中1・2の内容が極めて重要です。ここを徹底的に演習することで英語力の土台ができあがります。

なかでもbe動詞と一般動詞を完璧にすることが最重要課題です。



志英館の取り組みと方針

志英館では毎年、夏期特訓合宿を実施しています。合宿での学習をより効果的なものとするため、夏期講習会で英単語・英熟語、英文法を毎日演習し、完全習得してから合宿に臨みます。

基本を固めたあと、過去問等を利用してリスニング対策、読解問題対策、英作文対策を行います。

また、通常授業や夏期授業に加え、秋期講座やマスター講座等の特別講座も実施しています。



高得点の秘訣とアドバイス

■大問1「リスニング」



レベルは英検3級程度です。ただし、問題の説明も英語で行われるので注意が必要です。

試験中にメモを取ることはもちろん、音声が流れる前に、状況や選択肢の把握をする準備が大切です。

リスニングを得点源にするために、過去問等を使ってリスニングを普段から練習し、ネイティブの発音やスピードに慣れることが肝心です。

■大問2「英文の完成」

中1レベルの英単語、特に曜日・月・季節は必ず書けるようにしておかなければなりません。

■大問3・4・5「文章の読解」「会話文等の読解」

まずは設問を必ず確認する。英文はすばやく読む。1行ごとにいねいに日本語訳をするのではなく、かたまりごとにおおまかな意味をとらえながら読む。斜線や印などをつけながら読むのもおススメ。設問の前後関係の文が、答えを導き出すヒントになるが、段落ごとに内容をまとめることで、内容を理解しやすくなる。並べかえの問題は、()内の語句だけで判断するのではなく、まずはその前後で文の種類を判断する。英問英答は、疑問文の主語や動詞、時、場所などを確認してから解く。

■大問2・5「英作文」

大問2は2文以上、大問5は3文以上の英作文。学力検査問題は英検3級レベル、学校選択問題は英検準2級レベル。英検対策にも必ず参加し、英作文を添削してもらうことで満点解答を作ることができる。英作文は、国語同様とにかく量をこなすこと。